

スマトラ大震災・大津波による 「被災孤児のトラウマとPTSDケア」プロジェクト 「共同事業」へご参加のためのプレゼンテーション

スマトラ島沖大地震・インド洋大津波による人的・物的被害は、目を覆うばかりの大被害をもたらしています。死者22万人以上への哀悼の思いはもとより、親兄妹を失った「被災孤児」の存在には、胸が痛むのは、誰もが同じだと思います。この気の毒な「被災孤児」とりわけ、衝撃(shock)を強く受け心的外傷(trauma)を深く刻みこまれた孤児には、悲しみと同情を禁じ得ません。やがて後遺症(PTSD: post-traumatic stress disorder)を発症して、孤児の心身をむしばみ人生をも奪いかねません。

私達 NGO・AWOA(Aidfor WarOrphans in Asia)と、NPO・アジア戦災孤児救済センターでは、多数の戦災孤児を出したアフガニスタンの首都カーブルで、「戦災孤児のためのストレスクリニック」を運営して三年が経過し、多数の戦災孤児のトラウマ、PTSD ケアに実績を上げ、アフガン政府をはじめ地元の人々から、多数の感謝の言葉をいただいております。

当 AWOA とアジア戦災孤児救済センターでは、その実績をもとに、この度の被災により被害甚大であった、スマトラ島アチェ州及びスリランカに「被災孤児のためのストレスクリニック」を開設し、「被災孤児」のトラウマ・PTSD ケアの活動をするための準備を進めています。アフガニスタンでの成功が、日本の志ある個人、グループ、法人、各団体の皆さんの御支援とによって実現したことは、特筆すべき事で、敬意と感謝・感激で全身稲妻が走る思いであります(HPを是非ご覧下さい：<http://www.awoa.org/>)。

スマトラ島沖・インド洋大津波「被災孤児」の救済においても、この「感激の稲妻」と日本及び世界的貢献を共有したいと考え、「共同事業」のためのプレゼンテーションをさせていただく次第です。

プロジェクト(1)

- a) クリニック施設の建設(応急仮設)
- b) 現地小児科医師の雇用(2~3名。難しい時は、アフガンの医師派遣を考慮)
- c) 看護師の雇用(6~8名)
- d) 医薬品の購入
- e) サポートスタッフの雇用(マネージャー、事務、ドライバーなど)
- f) 孤児搬送車の購入(ロング・ワンボックスカー)
- g) パソコンはじめ事務用品(遠隔パラボラシステム)
- h) 月々人件費及びランニングコスト(現在リサーチ中)
- i) 医師・スタッフ全員に、ストレス・セラピーの緊急ワークショップ

これらのプロジェクトを実現し、一日約100名の「被災孤児」のトラウマ・PTSD ケアを行います。

プロジェクト（２）

- a) ニューヨーク、パリ、ロンドン、ジュネーブへ AWOA の支部を開設、広報と寄金集め
- b) 現地生活者の日本人を中心とする組織作りを進めます（ a) の具体的実現）
- c) 現地語による月刊誌（４～８P）の発行とHPの開設と、写真展・講演会の開催
- d) ここに「共同事業者」個人、法人、団体名が掲載されます
- e) 「共同事業者」に係る人々は、現地ボランティア活動に参加するチャンスができます

上記プロジェクト（１）（２）に係る費用を、「共同事業者」に負担（寄金）していただきます。

この有意義なプロジェクトの「共同事業者」となっていただけますよう、アフガニスタンの地より心からお願い申し上げる次第です。そしてこのプロジェクトの実現が、日本の社会へフィードバックされて、明るい社会作りに大きく貢献するものと信じます。

1月19日、このプロジェクトのため緊急帰国致しました。コラボレーションの為のミーティングチャンスをいただけますよう、心からお願い申し上げます。

2005年1月25日

NGO : AWOA (Aid for War Orphans in Asia)

Dehuri Chara-e Shayed Near Pol-Gamori, Kabul, Afghanistan
TEL 001-010-93-70-279859

現地 AWOA、日本 AWOA 代表理事 生井(Namai)隆明

NPO : アジア戦災孤児救済センター

〒112-0001 東京都文京区白山 5-36-2

TEL 03-3818-1928 FAX 03-3818-1927

E-Mail : info@awoa.org URL : <http://www.awoa.org/>

代表理事 生井(Namai)隆明